

組織コミットメントに影響を与える要因を明らかにする

Finding out the factors for the impact on commitments in an organization

1K06B199

指導教員 主査 木村和彦先生

松井 優紀

副査 倉石平先生

【研究の背景】

近年では、プロ野球やJリーグ、bjリーグといったプロリーグによる地域に密着したコンパクトな経営を目指し地域密着化が高まっている。これらの動きは、スポーツによって住民の地域への愛着度・居留意向を高め、地域活動への参加を促す効果があると考えられ、スポーツを通して地域の活性化をはかっている。また、チームでは地域での支持基盤の拡大とコストの削減により、安定した経営が求められる。このような経営を達成するために期待されているのが「スポーツボ・ボランティア」の存在である。そのためチームにとって、ボランティアの果たす役割は大きく、彼らからの継続的な支援を得る必要があると考えられる。磯谷（2008）はボランティアの活動継続意欲に最も影響を与えている要因を「組織コミットメント」とであると明らかにした。「組織コミットメント」とは、ある組織に対する個人の愛着度と同一化、関与の強さ（Porter ら、1974）と定義しており、組織コミットメントを高めることが、組織へのクオリティーの高い運営やパフォーマンスにつながると推測できる。現在、組織コミットメントの種類や組織コミットメントが与える影響においては様々な研究が発表されている。しかしながら、組織コミットメント自体に影響を与える要因については実証されていない。したがって、本研究では、bjリーグのボランティアを対象に組織コミットメントに影響を与える要因を明らかにすることとした。

【研究の目的】

本研究の目的は、bjリーグのボランティア参加者を対象に組織コミットメントに影響を与える要因を明らかにすることとする。

【研究の方法】

本研究の目的を達成するため、まず、組織コミットメントに関わる要因の選定を行うために、磯谷（2008）先行研究を考証した。磯谷（2008）の研究結果では、活動継続意欲に関する変数間の相関分析の結果から、組織コミットメントに対して有意な相関が見られた、「選手・スタッフ交流動機」、「利他・地域貢献動機」、「社会交流動機」、「スタッフ交流満足」、「自己効用感満足」、「ボランティア集団性満足」、「選手交流満足」、「感謝・活動サポート満足」の8変数は、活動継続意欲に対して間接的な規定力を持つ可能性があると考えられると明らかにしている。そこで、本研究では、この組織コミットメントに対して優位な相関が見られた8つの変数について分析を行い、その分析結果から組織コミットメントと最も関わりが考えられる変数を抽出し、その抽出された組織コミットメントへの影響が考えられる変数について、分析結果と実現可能性を考慮し、質問用紙を作成し、仙台、埼玉、東京、新潟、福岡、大分、沖縄の7つの各チームのボランティア担当者に質問紙調査を実施した。これにより、組織コミットメントの規定要因の実践的検証を試みた。

【結果と考察】

本研究の目的は、組織コミットメントに影響を与える要因を明らかにすることであった。またこの研究は磯谷（2008）のbjリーグのボランティアを対象に、ボランティアの活動継続意欲に影響を与える要因を明らかにする研究の継続研究として行った。目的を達成するため先行研究のデータの再分析を行い、各チームのボランティア担当者への質問紙調査による実証を試みた。これにより本研究では、組織コミットメントに最も影響を与える要因が「ボランティアの集団性満足」と「自己効用満足」であることが明らかとなった。